

公益財団法人とちぎ未来づくり財団

令和元年度事業報告 参考資料

1	青少年健全育成事業	1
2	栃木県子ども総合科学館管理運営事業	4
3	栃木県立とちぎ海浜自然の家管理運営事業	9
4	栃木県立なす高原自然の家管理運営事業	12
5	文化振興事業	15
6	栃木県埋蔵文化財センター管理運営事業	21
7	栃木県総合文化センター管理運営事業	27

A. 次代を担う子ども及び青少年の健全育成及び福祉の増進に資する事業

1 青少年健全育成事業〔栃木県青少年育成県民会議事業〕

○印はとちぎ県民カレッジ登録事業

1 啓発資料等の作成・配布

☆印は青少年と文化の連携事業

No.	種別	目的	作成部数等	配布先	活用方法等	備考
1	機関誌 「青少年とちぎ」	青少年の健全育成に役立ち、県内各地で活躍されている指導者各位を結ぶ架け橋の役目を果たすとともに、一般県民に青少年健全育成活動を紹介する。	11,400部 (3,800部×3回) 7月・12月・3月配布	各市町、関係機関、財団（青少年育成県民会議）賛助会員ほか	賛助会員には直接郵送するとともに、各市町や関係機関を通じて一般県民に配布した。	
2	冊子 親子学び合い事業	本事業の趣旨や内容について、各市町村民会議や各学校の理解を深める。	8,000部	親子学び合い事業実施校ほか	ネット時代の歩き方講習会の際、保護者の方に内容をより深くご理解いただくこと、さらには講習会時のみならず各家庭においても折にふれて、ネットとの向き合い方について考えていただくための資料となるよう作成した。	
3	冊子 市町村民会議啓発	市町村民会議の設置状況や役割、栃木県青少年育成指導員の活動を周知し、活動の活性化を図る。	1,000部	各市町、県内全市町村民会議、関係機関	青少年育成市町村民会議等全体研修会や社会教育・生涯学習行政等関係者会議等において関係職員に配布した。	
4	「県民運動」 啓発物品	心豊かでたくましいとちぎの青少年を育成するための県民運動を一般県民に周知する。	10,000個	県内全市町村民会議	各市町村民会議を通じて、総会や研修会の折に、一般県民にポケットティッシュを配布した。	

2 県民大会等の開催

No.	名称	目的	内容	対象・参加者数	実施日・回数	周知方法	備考
○ 1	少年の主張発表県大会	県内の中学生の若者としての誇りと自主性を育てるとともに、健全育成に対する大人の理解と関心を深める。	県内8地区より選出された代表16名の中学生による「少年の主張」発表県大会を実施した。	・地区大会： 中学生参加者総数 15,549名 聴衆総数1,598名 ・県大会：発表者16名 聴衆300名	・地区大会 8～9月 ・県大会： 9月21日 (土) 宇都宮市文化会館	県内全中学校、青少年育成関係団体にチラシやポスターを配布、当財団及び県ホームページ、広報誌等	
○ 2	心豊かな青少年を育む県民のつどい	県民運動をより一層推進し、地域全体で青少年を育てていくという意識を高揚させる。	青少年の健全育成に資するため、青少年による舞台発表や有識者による講演等を実施した。 ・大田原市青少年健全育成市民大会優秀賞受賞者作文発表 ・大田原女子高校ダンス部舞台発表 ・長野オリンピック金メダリスト 清水宏保氏 講演会	・参加者 800名	6月22日 (土) 那須野が原ハーモニーホール	各市町村民会議、青少年育成関係団体にチラシやポスターを配布、当財団及び市町のホームページ、広報誌等	

3 研修会、講習会等の開催

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	実施日等	参加者数	選定方法	周知方法	備考
1	青少年育成市町村民会議等全体連携会議	青少年育成運動の円滑かつ効果的な推進を図り、各青少年育成関係団体のより広い連携の在り方を考える。	栃木県総合教育センター	各青少年育成関係団体の年間活動計画を発表し合いながら、事業の連携や効果的な開催について話し合った。	市町村民会議や育成指導員、青少年育成関係団体	6月19日(水)	100名	希望者全て	各市町村民会議や育成指導員、各青少年育成関係団体に直接通知	
2	青少年育成市町村民会議等全体研修会	青少年育成運動の円滑かつ効果的な推進を図り、各青少年育成関係団体のより広い連携の在り方を考える。	栃木県総合教育センター	各青少年育成関係者が一堂に会し、青少年育成に係る諸問題について話し合った。	市町村民会議や育成指導員、青少年育成関係団体(学校関係者を含む)	2月20日(木)	100名	希望者全て	各市町村民会議や育成指導員、各青少年育成関係団体に直接通知	
3	親子学び合い事業 講師養成講座	子ども達に価値あるネットとの向き合い方、自分を成長させるネット利用について新たな気付きを与える講座の講師を養成する。	とちぎ青少年センター	合同会社ロジカルキット代表の下田太一氏を講師に、「親子学び合い事業」で講師として活動できる人材の育成を行った。	「親子学び合い事業」の講師として活動できる方、資質向上のためのフォローアップ研修に参加できる方	8月4日・5日 9月1日・2日 9月29日・30日 10月6日・7日 (2日のうちいずれか)	31名 (18名を講師として認定)	面接実施の上、受講者を選定	青少年育成関係団体にチラシを配布	
4	栃木子どもの本連続講座	子どもにより本や子どもと本をつなぐ方法を学び、ひいては子どもをとりまく文化状況を協議する。	栃木県教育会館	「子どもの本の誕生から現在」というテーマに翻訳者を迎え、連続講座を行った。	一般県民	6月15日(土) 7月6日(土) 8月31日(土) 9月21日(土)	総数100名	申込順	青少年育成関係団体にチラシを配布、栃木子どもの本連絡会を通じて県内全図書館、読書ボランティア関係団体にチラシを配布	

4 講師等の派遣

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数等	参加者数	選定方法	周知方法	備考
1	親子学び合い (児童生徒と保護者のためのネット時代の歩き方講習会)	ネット時代をよりよく歩んでいくために必要な力や環境づくりについて考える機会を設け、スマートフォン等の特性についての知識を普及する。	各小中学校等及び各特別支援学校	主に民間有識者を講師として派遣し、1時間を目安に講話を行った。	小・中学校、義務教育学校の児童生徒・保護者等	各小中学校 59回	小中学生 7,457名 保護者等 2,818名 教職員 541名	青少年育成市町村民会議推薦校	市町村民会議を通じて各小・中学校、義務教育学校に通知、ホームページ	
					特別支援学校の児童生徒・保護者	特別支援学校 4回	児童生徒 名167名 保護者等 12名 教職員66名	希望校全て	各特別支援学校に通知、ホームページ	

5 助成事業

No.	名称	目的	内容	対象・団体数など	選定方法	周知方法	備考
1	市町村民会議活動促進補助金	市町村民会議が青少年健全育成のために行う事業の促進を図る。	市町村民会議が、社会環境の浄化や健全な家庭づくり推進活動など青少年健全育成のために行う事業に対して助成した。	全市町村民会議（25市町の市町村民会議）	対象全て	市町を通じて該当市町村民会議に通知	
2	青少年育成指導員等研修会助成金	育成指導員と地区青少年育成連絡協議会との連携を深め、資質の向上を図る。	各地区青少年育成連絡協議会が、育成指導員との連携を深めるために年3回程度実施する講話・演習などの開催に対して助成した。	県内8地区の青少年育成連絡協議会	同上	各青少年育成連絡協議会に通知	
3	青少年育成指導員会自主研修会等助成金	育成指導員会の、青少年育成及びその指導に関する資質の向上を図る。	育成指導員会が、年3回程度実施する講話・演習・発表会の開催に対して助成した。	青少年育成指導員会	対象は一つのため選定せず	青少年育成指導員会に通知	
4	青少年育成団体連携助成金	各青少年育成関係団体と連携し、より効果的な事業の実施を図る。	各青少年育成関係団体が実施する事業の中で、県民会議の目的にそい、県民会議が主催者等となる事業に対して助成した。	青少年育成関係団体	予算の範囲内で理事長が決定	各青少年育成関係団体に通知	
5	少年の主張発表地区大会交付金	地区大会において青少年の健全育成を推進するとともに、その意義と重要性について県民の意識を高める。	青少年育成連絡協議会が、年8回程度実施する各地区の国公立中学校や特別支援学校中等部より選出された代表による発表会の開催に対し助成した。	県内の8地区青少年育成連絡協議会	対象全て	各青少年育成連絡協議会に通知	
6	子どもの読書活動推進助成金	子どもにより本や子どもと本をつなぐ方法を学ぶための講演会の開催を支援する。	栃木子どもの本連絡会が、子どもの本のテーマを決めて作者や訳者などを招き開催する講演会に対して助成した。	栃木子どもの本連絡会	対象は一つのため選定せず	栃木子どもの本連絡会に通知	
7	青少年リーダー支援事業費補助金	各市町で活動するジュニアリーダーズクラブ等の青少年ボランティアグループの活動を支援する。	各市町のジュニアリーダーズクラブや青少年ボランティアグループが行う地域での青少年育成活動やボランティア活動、研修活動等に対して助成した。	実施団体：9団体	市町村民会議からの推薦により、予算の範囲内で助成	各市町村民会議に通知	

6 表彰

No.	表彰名	表彰者	対象者・人数など	選考方法	周知方法	表彰基準	表彰場所
1	栃木県青少年育成県民会議表彰	栃木県青少年育成県民会議会長、理事長	a 子ども育成・憲章功労者 29名 b 子ども育成・憲章功労団体 18団体 c 社会貢献青少年（概ね30歳未満） 3名 d 優良青少年団体（概ね30歳未満の青少年が構成する団体） 3団体	市町長又は市町教育長からの推薦に基づき、県、県教育委員会、県警察本部、当財団からなる選考委員会の審査・選考で決定	各市町、関係機関への通知、ホームページ	a 原則5年以上の活動 b 原則5年以上の活動 c 原則3年以上の活動 d 原則5年以上の活動	県公館
2	「家庭の日」絵日記コンテスト	栃木県知事	・コンテスト応募：絵日記=1,406点 入賞者：13名	県、県教育委員会、県警察本部、新聞社、当財団からなる選考委員会の審査・選考で決定	ポスターを県下全小学校、チラシを各関係団体へ配布、新聞、当財団及び県ホームページ	家族のふれあいをテーマにした心あたたまる作品	県公館

2 栃木県子ども総合科学館管理運営事業(指定管理)

○印はとちぎ県民カレッジ登録事業

1 施設管理

☆印は青少年と文化の連携事業

No.	施設名	施設の設置目的・特徴	所在地	仕様・概要	利用・使用料	委託元
1	子ども総合科学館	<p>21世紀の本県を担う子どもたちが、学校や家庭では得難い科学的な知識や経験を自ら楽しみながら学習するとともに、子ども自身が進んで活動できる場を整備することによって、科学する心や文化を創造する心を育て、情操豊かな心身ともに健全な子どもを育成することを目的に栃木県が昭和63年に設置した。</p> <p>展示を中心とした科学及び科学技術の普及啓発施設としての機能と健全な遊びを通じて心身ともに健全な子どもの育成を図るための児童厚生施設としての機能を併せ持っている。</p>	宇都宮市西川田町567番地	展示場、多目的ホール、企画展示室、学習室3、プラネタリウム、天文台、屋外遊具、乗り物広場(ミニ機関車、変わり種自転車等)	<p>展示場：大人550円 小人220円 プラネタリウム：大人220円 小人110円 ミニ機関車・変わり種自転車 大人220円、小人110円 ※小人は4歳以上中学生以下 ※10/1より、上記料金に改定</p>	栃木県

2 主催事業

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数等	利用者数	選定方法	周知方法	委託元
1	常設展示場の一般公開と運営	常設展示品やサイエンスショーにより、わかりやすく科学及び科学技術の普及啓発を図る。	子ども総合科学館	解説員による展示内容や操作方法の説明、サイエンスショーによる科学現象の紹介、大型シミュレーターの運行等。展示品の日常管理、故障展示品の修繕等。	幼児～一般県民	通年(休館日を除く毎日)、新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月6日～24日休止	152,723名	特になし	催し案内、ホームページ等	栃木県
2	企画展(夏) 「探そう!宇宙のヒミツ ～みらいくんの宇宙探査～」	常設展示にない分野や話題性に富んだものを補完し、わかりやすく科学及び科学技術の普及啓発を図る。	子ども総合科学館	最新の観測技術とそれによってわかってきた宇宙の姿。地球外生命探査、はやぶさII模型、宇宙探査の疑似体験などの展示。	幼児～一般県民	7/26～9/1	37,930名	特になし	企画展チラシを各学校等に送付、市町の広報誌、ホームページ等	栃木県
3	企画展(春) 中止									
4	科学技術コンクール 「ロボット・チャレンジ」2019	試行錯誤をしながら創意工夫する製作活動を通して、物づくりの困難や楽しさ、達成感を味わい、科学的探究心と技術力を養うきっかけとする。	子ども総合科学館	自作のロボットを操作して、得点を競い合う試合形式の対戦型競技を行った。	中学生～一般県民	11/9	127名	特になし	事業案内を各学校等に送付、市町の広報誌、ホームページ等	栃木県

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数等	利用者数	選定方法	周知方法	委託元
5	科学フェスティバル	多数の実験ブースや工作ブース、サイエンスショーコーナー等で会場を構成し、来館者に科学や物づくりに親しむ場を提供する。	子ども総合科学館	地域外部団体（地域の大学、高等専門学校等）との共催又は協力を得て、来館者にミニ実験や工作、サイエンスショー等を体験してもらった。	幼児～一般県民	11/30～12/1	1,396名	特になし	事業案内を各学校等に送付、市町の広報誌、ホームページ等	栃木県
○ 6	各種教室開催事業	科学に関する様々なニーズに対応した教室を開催して科学に親しむ場を提供する。	子ども総合科学館	科学工作教室、ミニ工作、夏休み工作教室、電子顕微鏡教室、移動科学教室、テクニカルフェスティバル、小学生のための実験教室、自然観察教室を開催した。 *科学工作教室のみ県民カレッジ登録事業	幼児～一般県民	年50回程度	4,345名	抽選等	催し案内、ホームページ等	栃木県
7	プラネタリウム	天体や宇宙への興味・関心を喚起する。	子ども総合科学館	最新の天文学や季節の星座等を紹介する番組、子どもを対象に興味付けを主な目的とする番組及び学習指導要領に準拠した学習番組などバラエティーに富んだ内容を投影できた。	学校等の団体 幼児～一般県民	4回/日、 新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月6日～休止	67,397名	団体は申込順 一般は発券順	催し案内を学校・図書館・市民センター等に送付（県民が持ち帰り可）、ホームページ等	栃木県
○ 8	天体観察会	天体や宇宙への興味・関心を喚起する。	子ども総合科学館	太陽や月をはじめ、惑星、銀河、星雲・星団などの天体を一人ずつ覗く機会を提供した。 *夜間の天体観察会（星をみる会）のみ県民カレッジ登録事業	幼児～一般県民	年42回	4,019名	特になし	催し案内を学校・図書館・市民センター等に送付（県民が持ち帰り可）、ホームページ等	栃木県
9	天文教室・天文工作教室	天体や宇宙への興味・関心を喚起する。	子ども総合科学館	大接近した火星や夏の三大角、部分日食などの観察会を行った。また、手作り望遠鏡や星座早見傘といった天体に親しむためのツールなどの製作を行った。	幼児～一般県民	4/14, 8/3, 8/4, 9/7, 10/6, 12/26	110名	申込順、 抽選等	催し案内を学校・図書館・市民センター等に送付（県民が持ち帰り可）、ホームページ等	栃木県

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数等	利用者数	選定方法	周知方法	委託元
10	体験・育成事業	子どもに健全な遊びを提供し、心身の健康を増進し、情操の向上を図る。	子ども総合科学館	カウンタープログラムや「パズルの日」「KAPLA®であそぼう」等の通常プログラム、じっくり取り組む特別プログラム、親子での「まめっこタイム」、ボランティアによる「おりがみであそぼう」など自主的な遊び場となるようなプログラムを実施した。	幼児～一般県民	通年(休館日を除く毎日)	延べ52,462名	内容毎に設定	催し案内、ホームページ等	栃木県
11	乗り物広場の運営及び屋外遊具の管理	子どもに健全な遊びを提供し、心身の健康を増進し、情操の向上を図る。	子ども総合科学館	変わり種自転車の貸出し、ミニ機関車の運行と点検・整備及び屋外遊具等の点検管理を行った。	幼児～一般県民	開館日 但し乗り物広場は12月～2月平日運休、 新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月6日～24日運休	自転車、ミニ機関車利用者数合計 47,701名	特になし	催し案内、ホームページ等	栃木県
12	児童健全育成団体への支援・指導	児童健全育成の向上と市町児童館活動等の支援、また、児童厚生員等の資質向上及び交流を図る。	県内の市町児童館や関係機関	あそびの出前、児童館連携事業など、県内の市町児童館や関係機関の支援等を行った。	県内の市町児童館や関係機関	11回	316名	内容毎に設定	催し案内、県内児童館及び各市町所管課に通知、ホームページ等	栃木県
13	児童館・児童クラブ職員研修	児童館・児童クラブに関する情報提供や児童厚生員・児童支援員の資質の向上を図る。	子ども総合科学館、県内の公共施設のホール	児童館・児童クラブの児童厚生員・児童支援員への講演、実技講習を行った。なお、法人認定の資格取得研修としての実施は平成29年度で終了している。	児童館・児童クラブに勤務する児童厚生員・児童支援員	5回	328名	申込順	県内児童館、各市町所管課を通じて児童クラブに通知	栃木県
14	児童館フェア	県内児童館・児童センターの児童厚生員等の交流、資質向上、及び児童館活動の県民へのPRを図る。	子ども総合科学館	県内児童館・児童センターが一堂に会し、工作やゲームを行った。	幼児～一般県民	2/16	4,764名	特になし	催し案内、児童館フェアのチラシ、ポスターを県内児童館及び周辺小学校・幼稚園に送付、ホームページ等	栃木県

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数等	利用者数	選定方法	周知方法	委託元
☆ 15	ミュージカル公演 「みんなの宇宙」	子どもたちの科学に対する興味や知識を広めるための、子どもたちによる、子どもたちのためのミュージカルを上演する。(とちぎミュージカル協会主催)	子ども総合科学館	子ども総合科学館のテーマに沿った題材を取り上げた、子ども向けのオリジナルミュージカル「みんなの宇宙」を上演した。	幼児～一般県民	11/16, 17 全3回公演	373名	特になし	催し案内、ホームページ等	
☆ 16	ミュージカル公演 「クリスマスに贈る ミュージカル・パ フォーマンス」	子どもたちによるミュージカルパフォーマンスを通して、身近なものとして芸術文化に触れ、子どもの心の健康を増進し、情操の向上を図る。(とちぎミュージカル協会主催)	子ども総合科学館	クリスマスにちなんだ子どもたちによるミュージカルパフォーマンスを、とちぎミュージカル協会所属の2つの団体による日替わりの演目で各2回上演した。	幼児～一般県民	12/7, 8 全4回公演	516名	特になし	催し案内、ホームページ等	

令和元(2019)度栃木県子ども総合科学館利用状況調べ(前年度との比較)

(単位:人)

人数		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
展示場	大人	7,947	7,500	5,091	7,084	15,576	5,948	5,194	4,184	3,155	4,031	4,188	375	70,273
	前年度	7,948	7,720	4,058	7,475	15,000	7,007	4,151	3,609	3,211	4,136	3,873	8,608	76,796
	小人	7,067	10,418	5,912	8,409	16,906	6,645	11,994	5,372	2,584	3,016	3,862	265	82,450
	前年度	7,969	11,529	5,573	8,306	16,553	9,307	10,500	4,575	2,904	2,836	3,519	9,341	92,912
	合計	15,014	17,918	11,003	15,493	32,482	12,593	17,188	9,556	5,739	7,047	8,050	640	152,723
	前年度	15,917	19,249	9,631	15,781	31,553	16,314	14,651	8,184	6,115	6,972	7,392	17,949	169,708
プラネ	大人	2,402	2,490	1,635	2,728	6,018	1,772	1,329	967	681	993	1,047	16	22,078
	前年度	2,277	2,211	1,177	2,319	4,595	2,129	1,067	1,048	840	1,074	1,065	2,649	22,451
	小人	2,184	4,704	2,679	3,846	6,810	2,891	5,756	1,960	399	692	1,340	9	33,270
	前年度	2,083	4,298	2,513	3,508	5,052	3,624	5,304	1,911	763	740	1,504	2,945	34,245
	合計	4,586	7,194	4,314	6,574	12,828	4,663	7,085	2,927	1,080	1,685	2,387	25	55,348
	前年度	4,360	6,509	3,690	5,827	9,647	5,753	6,371	2,959	1,603	1,814	2,569	5,594	56,696
乗り物 広場 (自転車 ミニEL)	大人	2,895	3,073	1,180	1,259	1,219	1,919	1,436	2,047	1,096	1,581	1,844	464	20,013
	前年度	2,891	2,386	1,388	871	1,867	1,785	2,357	2,430	993	1,655	1,382	2,675	22,680
	小人	4,820	3,973	1,409	1,813	1,899	2,239	2,043	2,637	1,413	1,894	2,766	782	27,688
	前年度	4,675	2,524	1,445	1,152	2,721	2,304	3,070	3,153	1,459	2,124	1,539	4,321	30,487
	合計	7,715	7,046	2,589	3,072	3,118	4,158	3,479	4,684	2,509	3,475	4,610	1,246	47,701
	前年度	7,566	4,910	2,833	2,023	4,588	4,089	5,427	5,583	2,452	3,779	2,921	6,996	53,167
有料入館 者合計		27,315	32,158	17,906	25,139	48,428	21,414	27,752	17,167	9,328	12,207	15,047	1,911	255,772
	前年度	27,843	30,668	16,154	23,631	45,788	26,156	26,449	16,726	10,170	12,565	12,882	30,539	279,571
無料公開など		27,014	31,596	37,882	19,573	21,104	20,764	18,995	20,441	14,895	19,458	21,933	15,550	269,205
各種教室など		501	519	797	728	1,211	2,299	3,824	1,551	840	2,260	7,065	25	21,620
総合計		54,830	64,273	56,585	45,440	70,743	44,477	50,571	39,159	25,063	33,925	44,045	17,486	546,597

(単位:円)

収入 金額		7,346,310	7,777,480	4,685,910	6,826,790	13,844,950	5,681,640	6,135,760	4,363,140	2,787,970	3,590,580	4,125,780	459,910	67,626,220
	前年度	7,532,360	7,719,080	3,994,890	6,756,790	13,175,150	6,720,980	5,403,360	3,919,240	2,734,610	3,611,100	3,500,670	8,149,770	73,218,000

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月6日～24日まで休館。

収入金額 92.4%

3 栃木県立とちぎ海浜自然の家管理運営事業(指定管理)

○印はとちぎ県民カレッジ登録事業

1 施設管理

☆印は青少年と文化の連携事業

No.	施設名	施設の設置目的・特徴	所在地	仕様・概要	利用・使用料	委託元
1	とちぎ海浜自然の家	恵まれた自然の中での集団宿泊生活、野外活動、自然観察等を通して、体力の向上や豊かな情操及び社会性を培い、心身ともに健全な青少年を育成するとともに、生涯学習の振興に資することを目的として栃木県が平成4年に設置した社会教育施設である。 茨城県鉾田市の玉田海岸から太平洋を望む丘陵地に位置しており、海浜の広大な自然環境の中で宿泊を伴う多様な団体活動を行う場を提供することにより、青少年の健全な育成と生涯学習の充実を図ることを目的としている。	茨城県鉾田市玉田336番地2	宿泊室：洋室47、和室4、計400人宿泊可能 大学学習室、小学習室、海の展示館、海の図書館、体育館アリーナ、室内温水プール、帆船型屋外アスレチック	県内宿泊料（生活館・ロジ）：中学生以下350円、高校生等1,250円、一般3,000円 県外宿泊料（生活館・ロジ）：中学生以下700円、高校生等2,500円、一般5,000円 その他光熱水費、リネン料、食事料、プール代等	栃木県

2 主催事業

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	参加人数(延人)	選定方法	周知方法	委託元
1	臨海自然教室	海辺での集団宿泊や自然活動など様々な体験的な学習を提供し、子ども及び青少年の健全育成を図る。	海浜自然の家	「海の分教場」として、海に関する教育資源を活用したプログラムを教育活動の一環として実施した。	県内小学5年生	通年	36,820名	特になし	県内各小学校に通知	栃木県
2	各種団体受入事業	青少年育成関係団体や社会教育団体等の学習・研修・交流活動、家族のふれあい活動などの支援を図る。	海浜自然の家	利用団体の様々な研修目的に応じた多様な学習の場を提供し、研修活動を支援した。	研修を目的とした団体	通年	25,584名	特になし	ホームページ、各市町・団体への利用案内やチラシの送付	栃木県
3	利用団体指導者等研修	とちぎ海浜自然の家の主要事業である臨海自然教室や社会教育団体等による利用の指導効果を高めるため、指導法の研修を行う。	海浜自然の家	施設の特徴などを理解してもらうために、指導者に活動プログラムを体験してもらったり、プログラムの相談をしたりして利用のための研修を行った。	・臨海自然教室実施校教員 ・社教団体指導者	1回 4/25(金)	34名	特になし	県内各小学校、各種団体に通知	栃木県
○ 4	海釣り入門	海釣り等の活動を通して、家族、仲間とのふれあいを深めるとともに、自然のすばらしさを体験する。	海浜自然の家	海浜自然の家近辺の海で、磯釣りを通して自然の素晴らしさを体感する活動を実施した。	栃木県民一般 (小学4年生以上)	1回 5/11(土)～ 5/12(日)	80名	抽選	ホームページ、県広報媒体による広報、各市町・団体への主催事業案内の送付	栃木県
○ 5	海浜の旬・メロン1	地元特産のメロン狩りを通して、親子・家族、仲間のふれあいを深める。	海浜自然の家	メロン生産量日本一の鉾田市でのメロン狩り体験活動を実施した。	栃木県民一般	1回 6/1(土)～ 6/2(日)	230名	抽選	ホームページ、県広報媒体による広報、各市町・団体への主催事業案内の送付	栃木県
6	海浜の旬・メロン2	地元特産のメロン狩りを通して、親子・家族、仲間のふれあいを深める。	海浜自然の家	メロン生産量日本一の鉾田市でのメロン狩り体験活動を実施した。	栃木県民一般	1回 6/8(土)～ 6/9(日)	242名	抽選	ホームページ、県広報媒体による広報、各市町・団体への主催事業案内の送付	栃木県
○ 7	海浜夏まつり	海を持たない栃木県民が、海にかかわる体験活動を通して、自然のすばらしさを体感するとともに、家族、仲間とのふれあいを深める。	海浜自然の家	地引き網体験や砂浜遊び、夜のお祭り広場など、海浜で夏のイベントを楽しむ活動を実施した。	栃木県民一般	1回 7/6(土)～ 7/7(日)	202名	抽選	ホームページ、県広報媒体による広報、各市町・団体への主催事業案内の送付	栃木県

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数等	参加人数	選定方法	周知方法	委託元
○ 8	山の子・海の子 ファミリーキャン プ	栃木県と茨城県の家族（親 子）が、海での自然体験や 交流を通して、自然のすば らしさを体感するとともに 、仲間とのふれあいを深め たり、協力することの大切 さを学んだりする。	海浜自然の家	栃木県と茨城県の家族 同士による交流活動や 野外調理、創作活動を通 じて家族相互のつながりを 築いた。他にも地引網体験 や砂浜活動も実施した。	栃木及び茨城県民 の家族（小学生以上）	1回 9/7(土)～ 9/8(日)	91名	抽選	ホームページ、県広報媒体 による広報、各市町・団体 への主催事業案内の送付	栃木県
○ 9	カニ釣りわくわく キャンプ	テント泊や野外調理、カニ 釣り等の体験活動を通して 、家族や仲間と協力するこ との大切さや必要性を体感 するとともに、自然の中で たくましく生きるための知 識・技能の習得を図る。	海浜自然の家	テントでの宿泊を中心し て、カニ釣りやサバイバル 野外調理などを取り入れた 自然体験活動の実施を計 画した。	栃木県民一般 （小学生以上）	※台風19号の 影響により中止	0名	抽選	ホームページ、県広報媒体 による広報、各市町・団体 への主催事業案内の送付	栃木県
○ 10	海浜秋まつり	秋の味覚や収穫する喜びを 味わうなどの体験活動を通 して、自然のすばらしさを 体感するとともに、家族・ 仲間とのふれあいを深め る。	海浜自然の家	さんまの干物づくりや 網焼き試食。銚田市名産 のさつまいも掘り体験や、 つぼ焼きいもの試食など、 秋の味覚を楽しむ活動 を実施した。	栃木県民一般	1回 11/9(土)～ 11/10(日)	197名	抽選	ホームページ、県広報媒体 による広報、各市町・団体 への主催事業案内の送付	栃木県
○ 11	海浜の初日の出	初日の出鑑賞や正月遊びな どの伝統文化の体験を通し て、新春を迎える喜びを味 わうとともに、家族・仲間 の親睦を深める。	海浜自然の家	初日の出の観賞。たこ 作り、たこあげ、もちつき 見学など、お正月ならではの 活動を実施した。	栃木県民一般	1回 12/31(火)～ 1/1(水)	271名	抽選	ホームページ、県広報媒体 による広報、各市町・団体 への主催事業案内の送付	栃木県
○ 12	WE LOVE サイエンス	星空観察や科学遊びなどの 体験を通して、科学への興 味・関心を高め、身近な科 学に親しむとともに、家 族・仲間の親睦を深める。	海浜自然の家	星空を観察や、科学に 親しむ活動を通して、 科学に関する興味関心 を高めた。	栃木県民一般 （3歳以上）	1回 1/25(土)～ 1/26(日)	57名	抽選	ホームページ、県広報媒体 による広報、各市町・団体 への主催事業案内の送付	栃木県
○ 13	海浜冬まつり	冬の味覚を味わったり、活 動プログラムを体験したり することを通して、自然の すばらしさを体感するとと もに、家族、仲間の親睦を 深める。	海浜自然の家	迫力の「あんこう吊し 切り」実演。あんこう 汁など冬の味覚「あん こう」を楽しむ活動 を実施した。	栃木県民一般	1回 2/15(土)～ 2/16(日)	114名	抽選	ホームページ、県広報媒体 による広報、各市町・団体 への主催事業案内の送付	栃木県
○ 14	水族館 バックヤードツアー	海の生き物に触れたり、そ の生態を学んだりすること を通して、海のすばらしさ を体感するとともに、家 族、仲間の親睦を深める。	海浜自然の家 アクアワールド 大洗	水族館見学や普段は見 られない水族館の裏側 も見学。移動水族館や 講話などを通して、海 の生き物についての体 験学習を計画した。	栃木県民一般	※新型コロナ ウイルスの影響により 中止	0名	抽選	ホームページ、県広報媒体 による広報、各市町・団体 への主催事業案内の送付	栃木県

令和元(2019)年度 とちぎ海浜自然の家 利用状況

※今年度より利用形態や利用料金体系が変わったため、前年度のデータは掲載しておりません。

1 利用者数

(人数:人 / 金額:円)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
未 就 学 児	県内	41	21	146	302	164	99	57	31	38	27	3		929
	県外	10	17	0	245	66	10	0	2	0	0	0		350
	延利用者数	51	38	146	547	230	109	57	33	38	27	3	0	1,279
(臨 海) 小 学 生	県内	0	4,819	5,457	3,545	188	3,421	5,660	5,679	2,122	2,206	0		33,097
	県外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	延利用者数	0	4,819	5,457	3,545	188	3,421	5,660	5,679	2,122	2,206	0	0	33,097
小 学 生	県内	674	308	781	2,572	2,757	602	0	104	650	234	143		8,825
	県外	20	48	0	382	1,808	340	0	2	0	0	0		2,600
	延利用者数	694	356	781	2,954	4,565	942	0	106	650	234	143	0	11,425
中 学 生	県内	438	98	36	149	245	86	0	34	143	8	368		1,605
	県外	2	72	0	2	78	3	0	0	18	0	146		321
	延利用者数	440	170	36	151	323	89	0	34	161	8	514	0	1,926
高 校 生 等	県内	465	18	86	273	53	69	0	2	227	299	0		1,492
	県外	0	8	0	28	11	0	161	0	0	0	0		208
	延利用者数	465	26	86	301	64	69	161	2	227	299	0	0	1,700
そ の 他	県内	783	786	902	1,301	3,490	930	626	897	595	520	153		10,983
	県外	57	124	0	131	624	213	804	4	3	0	34		1,994
	延利用者数	840	910	902	1,432	4,114	1,143	1,430	901	598	520	187	0	12,977
合 計	県内	2,401	6,050	7,408	8,142	6,897	5,207	6,343	6,747	3,775	3,294	667	0	56,931
	県外	89	269	0	788	2,587	566	965	8	21	0	180	0	5,473
	延利用者数	2,490	6,319	7,408	8,930	9,484	5,773	7,308	6,755	3,796	3,294	847	0	62,404
	利用料収入	1,751,810	1,883,950	1,727,200	3,599,600	9,266,900	2,387,700	4,569,650	1,712,100	1,277,650	1,166,400	384,000	0	29,726,960

2 プール利用

施設利用人数	101	371	376	1,231	844	148	388	106	155	183	14	0	3,917
施設利用収入	13,600	43,700	47,400	173,600	142,400	32,400	43,000	19,600	20,300	28,600	2,600	0	567,200

3 その他

光熱水費相当額	399,000	1,403,850	1,625,400	1,872,150	1,846,250	1,226,050	1,685,250	1,515,850	779,100	717,850	145,600	0	13,216,350
リネン料	188,000	439,000	520,000	672,200	702,400	422,000	522,400	439,200	299,400	214,800	82,400	0	4,501,800
体験活動費	118,160	536,938	499,560	589,514	420,080	425,742	488,364	427,510	368,293	291,860	32,560	0	4,198,581

4 利用料収入合計

利用料収入合計	2,470,570	4,307,438	4,419,560	6,907,064	12,378,030	4,493,892	7,308,664	4,114,260	2,744,743	2,419,510	647,160	0	52,210,891
---------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	---------	---	------------

5 主催事業収入合計

主催事業収入合計	47,690	441,600	3,048,610	1,079,770	0	544,000	0	1,257,020	0	1,800,450	700,840	0	8,919,980
----------	--------	---------	-----------	-----------	---	---------	---	-----------	---	-----------	---------	---	-----------

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月6日～31日まで休所。

4 栃木県立なす高原自然の家管理運営事業(指定管理)

○印はとちぎ県民カレッジ登録事業

1 受託事業(施設管理)

☆印は青少年と文化の連携事業

No.	施設名	施設の設置目的・特徴	所在地	仕様・概要	利用・使用料	委託元
1	なす高原自然の家	<p>青少年の団体宿泊訓練をはじめとする県民の多様な団体活動を支援することにより、青少年の健全な育成と生涯学習の充実を図ることを目的として栃木県が平成16年に設置した社会教育施設である。</p> <p>日光国立公園の最北端、那須郡那須町にあり、標高1,915mの茶臼岳を背景に、眼下に那須野が原、遠く八溝・筑波の山嶺が一望できる標高1,030mの高所に位置し、那須高原の豊かな自然の中で、四季を通じて登山、ハイキング、スノーシューハイキングなど各種の自然体験活動ができる。</p>	那須郡那須町湯本157	<p>宿泊室：洋室25、和室5、バリアフリー室5、講師洋室4、講師和洋室1 計200人宿泊可能</p> <p>大研修室、中研修室、小研修室、体育館、体験プラザ</p>	<p>○宿泊料（県内在住者）：中学生以下 500円（学校教育活動等の一環として利用する場合は無料）、高校生 1,000円、大学生 2,000円、その他 2,500円（県外は別料金）</p> <p>○日帰り団体の施設利用料：大研修室 4,930円～、中研修室 1,850円～、小研修室 1,230円～、体育館・体験プラザ 2,050円～（学校教育活動等の一環として利用する場合は無料（県外含む））</p>	栃木県

2 受託事業(子ども及び青少年の健全育成事業)

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数等	参加人数	選定方法	周知方法	委託元
1	各種団体受入事業	青少年育成関係団体や社会教育団体等の学習・研修・交流活動などの支援を図る。	なす高原自然の家	利用団体の様々な研修目的に応じた多様な学習の場を提供し、研修活動を支援した。	研修を目的とした県内の団体	通年	30,068名	希望者全て	ホームページ、各市町・団体への利用案内やチラシの送付	栃木県
2	利用団体指導者研修	利用団体の指導者を対象に研修を行い、利用団体が安全・安心な活動が出来るよう図る	なす高原自然の家 ほか	施設案内、活動プログラムや活動のポイント紹介。併せて登山の研修も実施した。	利用団体の指導者	2回 ①4/16(火) ②5/14(火)	①18名 ②11名	希望者全て	利用予約団体への通知	栃木県
○	3 ふれあい登山 in 那須連峰①②③	登山の基礎知識・基礎技術の習得を図りながら、登山の楽しさを味わい、参加者相互の交流を図る。	なす高原自然の家	初心者、初級者を対象に、登山についての講演や登山を実施した。対象や内容を変えて3回実施。	①家族 ②成人 ③成人	3回 ①8/10(土・祝)～8/11(日) ②9/7(土)～9/8(日) ③10/5(土)～10/6(日)	①35名 ②13名 ③21名	抽選	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県
○	4 こどもチャレンジキャンプ	様々な体験活動を通し、仲間を作ることで、協力することの大切さを学び、たくましく生き抜く力を身につける。	なす高原自然の家	こどもたちのみで、創作活動や仲間と協力して取り組む調理活動等を行った。	小学5、6年生	1回 11/2(土)～11/3(日)	12名	抽選	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数等	参加人数	選定方法	周知方法	委託元
○ 5	わくわく体験デー	調理活動・創作活動等を通して、親子のふれあいを深める。	なす高原自然の家	創作活動と調理活動を行った。	家族	1回 ①10/26(土)	18名	抽選	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県
○ 6	クリスマスファミリーデー	クリスマスにちなんだ体験活動を通して、家族の交流を深める。	なす高原自然の家	クリスマスリース作りなどの創作活動やローストチキン等のクリスマス調理活動を行った。	家族	1回 12/14(土)～ 12/15(日)	36名	抽選	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県
○ 7	冬のファミリーデー①②	冬的那須の自然とふれあいながら、家族の交流を深める。	なす高原自然の家	雪不足のため、予定を変更してネイチャーゲームなどの自然体験活動を2日間に渡って行った。	家族 (3歳以上)	2回 ①1/25(土) ～1/26(日) ②2/15(土) ～2/16(日)	①53名 ②60名	抽選	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県
8	家族スペシャルデー①② (新イベント)	自然豊かな那須の観光の後に、自然の家の施設を紹介したり、活動を体験したりしながら、家族での団らんを図る。	なす高原自然の家	キャンプファイヤーや創作活動(マイスプーンフォーク作り)を行う予定であった。	家族	2回 ①1/11(土) ～1/12(日) ②3/7(土)～ 3/8(日)	①中止 ②中止	抽選	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県
○ 9	ふれあい広場	障がいのある方と家族間の交流及びボランティアとの交流を深める。	なす高原自然の家	野外体験活動やレクリエーション、親同士の情報交換会、調理活動をボランティアを交えて行う予定であった。	成人の障がいのある方とその家族、特別支援学校や学級に通う児童・生徒と家族(3歳以上)	1回 2/29(土)～ 3/1(日)	中止	抽選	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県

令和元(2019)年度 なす高原自然の家 利用状況

※今年度より利用形態や利用料金体系が変わったため、前年度のデータは掲載しておりません。

1 利用者数

(人数:人 / 金額:円)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
未就学児	県内	0	0	0	550	235	2	63	2	48	0	173		1,073
	県外	0	0	0	84	8	0	0	0	0	125	0		217
	延利用者数	0	0	0	634	243	2	63	2	48	125	173	0	1,290
小学生	県内	14	940	1,554	1,561	1,327	1,224	2,541	1,098	58	23	260		10,600
	県外	0	0	314	530	716	1,029	608	363	32	107	0		3,699
	延利用者数	14	940	1,868	2,091	2,043	2,253	3,149	1,461	90	130	260	0	14,299
中学生	県内	1,565	1,905	1,821	150	223	147	93	252	0	166	2		6,324
	県外	0	0	0	0	83	0	0	36	0	7	0		126
	延利用者数	1,565	1,905	1,821	150	306	147	93	288	0	173	2	0	6,450
高校生等	県内	0	133	10	490	460	180	0	428	351	0	1		2,053
	県外	0	106	0	105	2	0	18	0	0	91	0		322
	延利用者数	0	239	10	595	462	180	18	428	351	91	1	0	2,375
大学生等	県内	0	0	2	12	7	0	0	0	0	0	39		60
	県外	0	0	0	0	3	0	45	0	0	0	0		48
	延利用者数	0	0	2	12	10	0	45	0	0	0	39	0	108
その他	県内	364	393	534	1,275	712	412	377	356	71	57	173		4,724
	県外	0	53	57	115	206	105	108	50	25	103	0		822
	延利用者数	364	446	591	1,390	918	517	485	406	96	160	173	0	5,546
合計	県内	1,943	3,371	3,921	4,038	2,964	1,965	3,074	2,136	528	246	648	0	24,834
	県外	0	159	371	834	1,018	1,134	779	449	57	433	0	0	5,234
	延利用者数	1,943	3,530	4,292	4,872	3,982	3,099	3,853	2,585	585	679	648	0	30,068
	利用料収入	611,000	879,500	1,087,500	2,742,000	2,475,500	1,628,000	1,249,000	1,034,500	372,500	487,200	194,800	0	12,761,500

2 施設利用

施設利用件数	122	183	154	296	249	146	167	147	70	69	50	0	1,653
施設利用収入	0	0	0	0	6,670	0	6,270	0	2,460	0	17,230	0	32,630

3 その他

光熱水費相当額	480,740	810,120	1,001,470	1,094,780	946,430	737,450	823,450	621,350	144,050	148,780	95,030	0	6,903,650
リネン料	241,640	456,400	542,360	595,560	434,560	374,360	474,880	285,880	58,240	80,080	57,960	0	3,601,920
体験活動費	204,400	471,480	384,370	317,810	268,900	404,560	678,800	266,620	20,380	3,960	20,950	0	3,042,230

4 利用料収入合計

利用料収入合計	1,537,780	2,617,500	3,015,700	4,750,150	4,132,060	3,144,370	3,232,400	2,208,350	597,630	720,020	385,970	0	26,341,930
---------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	---------	---------	---------	---	------------

5 主催事業収入合計

主催事業収入合計	10,800	7,750	0	0	249,500	115,050	211,350	60,500	214,950	248,900	274,250	0	1,393,050
----------	--------	-------	---	---	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---	-----------

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月6日～31日まで休所。

5 文化振興関係事業

○印はとちぎ県民カレッジ登録事業

1 コンクール

☆印は青少年と文化の連携事業

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数等	入場・参加数	選定方法	周知方法	備考
1	とちぎ舞台芸術アカデミー2019【音楽部門】 第24回コンセール・マロニエ21 ＜全国発信型事業＞	とちぎから全国へ発信する事業の一環として、新進演奏家を支援するとともに、県内演奏家のレベルアップを図る。	予選：宇都宮市文化会館／大ホールほか 本選：宇都宮市文化会館／大ホール→（代替開催）栃木県総合文化センターリハーサル室	①声楽、②ピアノ、③弦楽器、④金管楽器、⑤木管楽器の5部門を毎年1部門づつ順番に実施する。2019年度は金管楽器部門（ホルン・トランペット・トロンボーン・チューバ）を行った。	各部門で年齢的な対象を設定するが、それ以外は特に制約はない。（在住地・国籍不問）	年1回 「録音審査」7月2日（火） 「オーディション」8月17日（土） 「本選・表彰式・レセプション」※台風19号の為代替開催10月12日（土）→2020年2月29日（土）	録音審査67人 オーディション33人 本選7人	録音審査（非公開）、オーディション（公開）、本選（公開）の3段階審査により入賞者を決定する。	参加要項リーフレット・ポスター等を全国の文化施設や高校・大学の音楽科、県内の生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。音楽専門雑誌への広告掲載。ホームページほか。	音楽
2	とちぎ舞台芸術アカデミー2019【舞踊部門】 第24回ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミー 留学生オーディション ＜全国発信型事業＞	とちぎから全国へ発信する事業の一環として、世界最高峰のバレエ学校公式留学の機会を設け、将来世界に羽ばたく新進のバレエ実演者を支援するとともに、県内の若い実演者のレベルアップとグローバルな意識の向上を図る。	栃木県総合文化センター／リハーサル室ほか	世界へ通じるプロダンサーの登竜門と位置づけ、280年の歴史ある名門クラシック・バレエ学校「ロシア国立・バレエ・アカデミー」との共催による、公式留学生オーディションを実施した。可否を決定する審査に加え、ワガノワメソッドの実技指導も行った。	高校生（概ね15歳）～20歳のプロを目指す若手バレエ実演者で、アカデミー留学を強く希望する者。（在住地・国籍不問）	年1回 7月13日（土）～14日（日）	一次応募19名 参加18人 二次10人 合格2人	バー&センターレッスン一次、二次の2段階オーディションにより合格者を決定した。非公開審査。	参加要項リーフレット・ポスター等を全国の文化施設やバレエ教室・バレエ団、県内の生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。バレエ専門雑誌への広告掲載。ホームページほか。	舞踊
☆ 3	とちぎ舞台芸術アカデミー2019【音楽部門】 第14回栃木県ジュニアピアノコンクール	栃木県内でピアノを学ぶ小学～高校生の研鑽意欲を高め、ジュニア世代のピアノ演奏技術の向上とクラシック音楽への普及啓発を図る。	予選：栃木県総合文化センター／リハーサル室 本選：栃木県教育会館／大ホール	前身の「栃木県ピアノコンクール」から30年の歴史と実績を生かし、子どもたちの豊かな感性をより育める内容でコンクールを実施した。参加部門は①小学1・2年生、②3・4年生、③5・6年生、④中学生、⑤高校生の5部門。	県内の小学生から高校生のピアノ実演者	年1回 「予選」8月3日（土）・4日（日）・6日（火） 「本選」11月4日（月・休）	予選111人 本選42人	予選（公開）、本選（公開）の2段階審査により入賞者を決定する。	参加要項リーフレット・ポスター等を県内の文化施設、生涯学習施設、図書館、市町、マスコミ、楽器店へ郵送。ホームページほか。	音楽

2 講習会、セミナー等

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数等	入場・参加数	参加方法	周知方法	備考
☆ 1	とちぎ舞台芸術アカデミー2019【音楽部門】 栃木県ジュニアピアノコンクール「課題曲公開講座」	県内の小学生から高校生までのピアノ実演者とその指導者の技術の向上とクラシック音楽の普及啓発を図る。	宇都宮市立南図書館/サザンクロスホール	①小学1・2年生、②3・4年生、③5・6年生、④中学生の4部門毎に、コンクール課題曲を中心にしたピアノ演奏実技の講習を行った。	栃木県ジュニアピアノコンクールへ参加を希望している者。(保護者・指導者含む)	年1回 5月3日(金・祝)	110名	申込順 (高校生以上受講料あり)	参加案内を、県内の関係機関へ郵送する他、県内の楽器店を通じて幅広く周知を行う。ホームページほか。	音楽
○ 2	マロニエ文化まなびのひろば「考古学セミナー」 考古学専門家の研究成果 一埋蔵文化財センター職員による研究の到達点一	埋蔵文化財や地域の歴史、過去の人々の生活への理解と関心の喚起を図る。	栃木県総合文化センター/第1会議室	テーマを決め、埋蔵文化財センターの専門職員による考古学講座を行った。①実験考古学の視点による縄文土器・土偶 一制作実験から分かった技術的側面一 ②死者の「家」としての古墳 ③古代下野の仏教文化 ④中世下野の城館	一般	年4回 ①10月20日(日) ②11月17日(日) ③12月1日(日) ④1月26日(日)	①86名 ②84名 ③90名 ④80名	申込順(有料)	募集チラシを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。前年度受講者に通知。ホームページほか。	考古学

3 ワークショップ

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数等	入場・参加数	参加方法	周知方法	備考
☆ 1	とちぎ舞台芸術アカデミー2019【舞踊部門】 第26回ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミー レッスン講座	若い実演者の育成とグローバルな視野を育てる為、県内小学～高校生のバレエ実演者に世界の優れた指導者から直接指導を受ける機会を設け、バレエの技術習得の向上と普及啓発を図る。	栃木県総合文化センター/リハーサル室	世界最高峰のバレエ学校「ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミー」教授により、基礎、初級、中級、マスタークラスの4段階の各技術水準に合わせたバレエ実技講習会を行った。	県内のバレエ教室でレッスンを受ける小学～高校生のバレエ実演者	年1回 7月13日(土)～15日(月・祝)	基礎30名 初級30名 中級30名 マスタークラス10名	抽選(有料)	募集チラシを県内の関係機関へ郵送するほか、県内のバレエ教室を通じて、幅広く周知を行う。ホームページほか。	舞踊
2	とちぎ舞台芸術アカデミー2019【音楽部門】 「第九」のための合唱プレワークショップ	クラシック音楽及び合唱への関心の喚起を図るとともに、県民合唱実演者及び観客の育成に取り組む。	栃木県総合文化センター/音楽練習室	「第九」合唱の初心者入門ワークショップ。「第九」演奏会の合唱指導者により、発声方法の基本と「第九」合唱の基礎指導を行った。	一般県民(高校生以上)の合唱実演者	年2回 ①9月1日(日) ②9月8日(日)	87名	申込順(有料)	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
3	とちぎ舞台芸術アカデミー2019【音楽部門】 栃木県楽友協会「第九」合唱練習会	クラシック音楽及び合唱への関心の喚起を図るとともに、県民合唱実演者及び観客の育成に取り組む。	栃木県総合文化センター/リハーサル室ほか	ベートーヴェン交響曲第9番4楽章の合唱部分を学ぶワークショップ。ソプラノ、メゾソプラノ、テノール、バス・バリトンの4声種に分け、合唱団を編成し、栃木県楽友協会所属の指導者による発声・合唱を行った。参加者は、12月22日(日)開催の「第九」演奏会に出演した。	一般県民(高校生以上)の合唱実演者	年10回 ①10月6日(日) ②10月20日(日) ③10月27日(日) ④11月10日(日) ⑤11月24日(日) ⑥12月1日(日) ⑦12月8日(日) ⑧12月15日(日) ⑨12月20日(金) ⑩12月21日(土)	146名	申込順(有料※高校生は無料)	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数等	入場・参加数	入場方法	周知方法	備考
☆ 4	とちぎ舞台芸術アカデミー2019【音楽部門】 マロニエ・サウンド・クリニック2019	県内高校生の演奏技術の向上と合唱、吹奏楽、器楽管弦楽の普及啓発を図る。	栃木県教育会館（大ホールほか） 青少年センター（多目的ホールほか）	「コンセール・マロニエ21」入賞者等のプロの演奏家を指導者に、弦・木管・金管・打楽器及び合唱の5分野16種において実技講習会を行った。	県内高等学校生徒	年1回 11月3日(日)	231名	申込順（有料）	栃木県高等学校文化連盟音楽部会へ通知。部会から各高校へ通知。ホームページほか。	音楽
☆ 5	第7回ミュージカルワークショップ IN とちぎ海浜自然の家	栃木県における子ども達へのミュージカルの振興を図るとともに関心を喚起し、ミュージカル団体の活動を広く県民に周知する。	とちぎ海浜自然の家	海浜自然の家宿泊によるワークショップ。とちぎミュージカル協会所属の指導者による歌・ダンス・芝居を組み合わせたプログラム。 ※新型コロナウイルス拡大防止の観点から中止とした。	一般県民（宿泊が可能な小学3年生程度～高校生までの児童・生徒でミュージカル活動に興味のある者）	年1回 3月29日(日)～ 3月31日(火)	—	申込順（有料）	募集チラシを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。前年度受講者へ通知。ホームページほか。	ミュージカル

4 鑑賞型文化振興事業

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数等	入場・参加数	入場方法	周知方法	備考
1	とちぎ舞台芸術アカデミー2019【音楽部門】 学校訪問演奏会事業～音楽って素晴らしい！学校でこんにちは！～	児童生徒へのアウトリーチ事業として、クラシック音楽等の普及啓発を図る。	県内小・中学校／体育館・音楽室等	「コンセール・マロニエ21」入賞者を中心とするプロのアーティストが、県内の小・中学校を訪問し、トークやレクチャーを交えて音楽のすばらしさを子ども達に紹介するクラシック演奏会を行った。器楽、声楽等。	下都賀・安足地区の小中学生	年8回 ①5月9日(木) ②5月10日(金) ③5月22日(水) ④5月23日(木) ⑤5月30日(木) ⑥5月31日(金) ⑦6月4日(火) ⑧6月5日(水)	1,750名	—	開催学校へ通知。学校から生徒・保護者・地域住民等に周知。	音楽
2	《栃木県総合文化センター出張公演》 平日の贈り物♪ランチタイムコンサート	クラシック音楽等の普及啓発を促進するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	宇都宮市文化会館／小ホール	平日昼間に開催する、休憩なし60分コンサートを行った。チケット提示により、会場周辺の協賛店によるサービスも提供した。 Vol.31「笹沼 樹～チェロの世界」	一般	年1回 5月16日(木)	311名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
3	とちぎ版文化プログラムリーディングプロジェクト事業 県民の日記念イベント連携 「上田純子ソプラノ・リサイタル～昭和の情景～ふるさととちぎから」	県出身の「コンセール・マロニエ21」受賞者に発表の機会を提供すると共に、県民にコンクール入賞レベルの演奏鑑賞の機会を提供しクラシック音楽の演奏及び鑑賞の理解と啓蒙普及を図る。	栃木県議会議事堂（1階）	とちぎ版文化プログラムリーディングプロジェクト平成31年度統一テーマ「情景」と「ふるさととちぎ」を二大テーマに、県出身「コンセール・マロニエ21」受賞者によるクラシック音楽コンサートを行った。	一般県民	年1回 6月15日(土)	300名	特になし	チラシを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
4	《栃木県総合文化センターギャラリー棟リニューアルプレオープン事業》 アートギャラリー展	全館改修工事中の栃木県総合文化センターのギャラリー棟がホール棟に先駆けてオープンすることに伴うプレオープン事業。	栃木県総合文化センター／第1・第4ギャラリー	リニューアルしたギャラリー棟ギャラリーを会場に、県を代表する作家による特別展示を行った。また、邦楽のミニ演奏会を開催した。	一般	7月25日(木)～ 28日(日) ※演奏会27日(土)・28日(日)の各日3回	371名	無料	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	日本画・洋画・彫刻・工芸・書道・写真

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数等	入場・参加数	入場方法	周知方法	備考
5	《栃木県総合文化センターギャラリー棟リニューアルプレオープン事業》 ギャラリー棟内覧会	全館改修工事中の栃木県総合文化センターのギャラリー棟がホール棟に先駆けてオープンすることに伴うプレオープン事業。	栃木県総合文化センター／第2・第3ギャラリー、各会議室、各練習室、和室、リハーサル室	リニューアルしたギャラリー棟のギャラリー、各会議室、各練習室、和室、リハーサル室を自由に見学できる内覧会を行った。	一般	7月25日(木)～28日(日)	500名	無料	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	—
6	とちぎ舞台芸術アカデミー2019【音楽部門】 栃木県交響楽団特別演奏会～とちぎが誇る全国音楽コンクール「コンセル・マロニエ21」優勝者を迎えて～(水野優也/チェロ)	クラシック音楽の普及啓発を促進し、舞台芸術鑑賞機会の提供を図るとともに、若手演奏家へ演奏機会を提供する。	那須野が原ハーモニーホール／大ホール	「コンセル・マロニエ21」入賞者支援の一環として、同コンクール優勝者等をコンチェルトソリストに迎え、県民オーケストラによる演奏会を開催した。	一般	年1回 9月23日(月・祝)	520名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
7	《栃木県総合文化センターギャラリー棟リニューアル記念》 平日の贈り物♪ ランチタイムコンサート	クラシック音楽等の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／リハーサル室	平日昼間に開催する、休憩なし60分コンサートを行った。チケット提示により、会場周辺の協賛店によるサービスも提供した。 Vol.32「山田武彦～音の魔術師*ピアノの世界」 Vol.33「即位祝賀！～華麗なる宮廷雅楽の世界」 Vol.34「よなは徹～沖縄三線の世界」	一般	年3回 Vol.32 9月5日(木) Vol.33 10月24日(木) Vol.34 2月21日(金)	Vol.32 148名 Vol.33 176名 Vol.34 213名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽ほか
☆ 8	とちぎ未来コラボプロジェクト 「劇場をとびだして！お出かけ♪とちの実コンサート」 令和元年度とちぎ版文化プログラムリーディングプロジェクト事業 明示の情景～未来へつなぐ“とちぎの記憶”～	事業所間連携事業推進の一端として企画。財団各事業所や県立施設等の主催事業参加者及び利用者を対象に、上質な演奏を気軽に鑑賞できる機会を提供し、文化芸術の理解と啓蒙普及を図る。	旧青木家那須別邸(明治の森・黒磯憩いの広場)	コンセル・マロニエ21入賞者や、学校訪問演奏会の出演者など、県ゆかりのアーティスト等の協力を得て行う観客参加型のショートタイプ演奏会。財団各事業所や県立の施設等と連携して開催する。2019年度は、日本遺産に認定された那須野が原の“情景”をテーマにしたステージイベント(演奏)を行った。	一般県民	年1回 11月16日(土)	100名	特になし	チラシ等を県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
9	《栃木県総合文化センター出張コンサート》 森麻季(ソプラノ) ～音の美術館～イタリア 美への旅路	クラシック音楽の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	那須野ヶ原ハーモニーホール／大ホール	日本を代表するソプラノ森麻季と、文化芸術プロデューサー浦久俊彦によるイタリア音楽と絵画をテーマにしたトーク&コンサート。大型スクリーンに名画を投影し、まつわる物語や歴史・文化のトークとともに珠玉の名曲を歌い上げる、「目」と「耳」で楽しめるコンサートを行った。	一般	11月17日(日)	667名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽ほか

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数等	入場・参加数	入場方法	周知方法	備考
10	とちぎ舞台芸術アカデミー2019【音楽部門】 第12回栃木県楽友協会『第九』演奏会	クラシック音楽の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	宇都宮市文化会館／大ホール	栃木県オペラ協会及び「『第九』合唱練習会」参加者からなる「栃木県楽友協会『第九』合唱団」と、栃木県交響楽団等からなる「栃木県楽友協会管弦楽団」、栃木県ゆかりのソリストによるオールとちぎの『第九』演奏会を行った。	一般	年1回 12月22日(日)	1,286名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
☆ 11	とちぎ舞台芸術アカデミー2019【音楽部門】 フレッシュアーティスト・ガラ・コンサート	クラシック音楽の普及啓発を図り、舞台芸術鑑賞機会の提供を図るとともに、若手演奏家へ演奏機会を提供する。	栃木県総合文化センター／リハーサル室	2019年度開催の「第14回ジュニアピアノコンクール」上位入賞者等による演奏会を行った。	一般	年1回 1月26日(日)	191名	入場整理券(申込順)	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
12	＜東京2020NIPPONフェスティバル共催プログラム＞ とちぎ文化フェスティバル2020～栃木県総合文化センターリニューアルプレオープン記念公演～ とちぎで生まれたオーケストラ大集合！	2020年4月にリニューアルオープンするホール棟の完成お披露目として、県民に地元とちぎで活躍する様々なオーケストラの音色をリニューアルした劇場で鑑賞する機会を提供する。また東京2020NIPPONフェスティバル共催文化プログラムに採択された場合は、県内聖火リレーセレブレーションイベントを盛り上げる役割も果たす。	栃木県総合文化センター／メインホール・サブホール	県内で活動を行う主なアマチュアオーケストラ団体による、0歳から入場可能なファミリー向け演奏会(サブホール)と就学児童からの一般向け演奏会(メインホール)。演奏曲目に“ふるさととちぎ”や“洋と和の融合”のテーマを盛り込む。 ※新型コロナウイルス拡大防止の観点から中止とした。	一般	年1回 3月29日(日)	一	入場整理券(申込順もしくは抽選)	チラシを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
13	＜東京2020NIPPONフェスティバル共催プログラム＞ とちぎ文化フェスティバル2020～栃木県総合文化センターリニューアルプレオープン記念公演～ 劇場で味わうとちぎ～音楽絵巻風(声優朗読劇)	劇場離れの激しい若い世代へ舞台芸術の普及啓発と舞台芸術鑑賞機会の提供を図るとともに、県内の歴史や文化・自然等に興味関心をもつきっかけづくりとする。また東京2020NIPPONフェスティバル共催文化プログラムに採択された場合は、県内聖火リレーセレブレーションイベントを盛り上げる役割も果たす。	栃木県総合文化センター／リハーサル室	栃木の歴史や文化・自然等を題材にしたオリジナル脚本を用い、若者層に人気を誇る県出身声優アーティストによる音楽・リーディングからなる音楽絵巻風朗読劇。オープニングに「とちぎ版文化プログラム」県リーディングプロジェクト作成のプロジェクトマッピング『ヒカリノタビ～文化が彩る 栃木への誘い～』を投影。 ※新型コロナウイルス拡大防止の観点から中止とした。	一般	年1回 3月30日(月)	一	入場整理券(申込順もしくは抽選)	チラシを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽

5 共催文化振興事業

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数等	入場・参加数	入場方法	周知方法	備考
☆ 1	第13回ミュージカルフェスティバルin鹿沼	ミュージカルの普及啓発を図るとともに、県内ミュージカル団体の活動を広く周知する。	鹿沼市民文化センター／大ホール	とちぎミュージカル協会加盟5団体と「第7回ミュージカルワークショップ IN とちぎ海浜自然の家」参加者による創作ミュージカル公演を行った。	一般	年1回 4月21日(日)	400名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	ミュージカル
2	劇団四季ファミリーミュージカル「カモメに飛ぶことを教えた猫」	ミュージカルの普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	宇都宮市文化会館／大ホール	劇団四季による26年ぶりの新作ファミリーミュージカル公演を行った。	一般	年1回 1月5日(日)	1,683名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	ミュージカル
3	(公社)宇都宮法人会・関東信越税理士会宇都宮支部 秋季講演会	著名文化人による講演会の聴講機会の提供を図る。	栃木県教育会館／大ホール	著名文化人による文化講演会を行った。「林 真理子『私の仕事から』」	一般	年1回 11月12日(火)	837名	入場整理券(申込順)	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	講演会
4	第44回栃木県文化振興大会	文化活動関係者の意欲の高揚を図るとともに、文化行政への理解の促進を図る。	宇都宮市文化会館／大ホール	県内の文化活動関係者が一堂に会して実施する文化交流大会を行った。	一般	年1回 1月30日(木)	1,100名	申込順	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	文化振興
5	第28回栃木県郷土芸能大会	郷土芸能の普及啓発を図るとともに、鑑賞機会の提供を図る。	真岡市民会館(いちごホール)	県内の郷土芸能団体による発表大会を行った。	一般	年1回 2月23日(日)	400名	入場無料	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	郷土芸能

27事業71公演等 ※内中止3事業5公演

6 栃木県埋蔵文化財センター管理運営事業

○印はとちぎ県民カレッジ登録事業

1 施設管理

☆印は青少年と文化の連携事業

No.	施設名	施設の設置目的・特徴	所在地	仕様・概要	利用・使用料	委託元
1	栃木県埋蔵文化財センター	県内における埋蔵文化財の保護及び調査研究、保存活用、知識の普及啓発、市町支援・連携を行うことによって、県民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的に埋蔵文化財に関する中核施設として栃木県が設置した。	下野市紫474番地	常設展示室、研修室、図書室、学習室、研究室、保存処理分析室、整理室、記録保管室、情報処理室、写場・暗室、搬入室、洗浄室、収蔵庫、木器室、金属器室、事務室等	常設展示室、研修室、図書室、学習室:無料	栃木県

2 発掘調査事業

No.	遺跡名	調査の原因	所在地	遺跡の時代・性格	発掘調査の内容	契約期間	委託元
1	重要遺跡等現況範囲確認調査	(1)重要遺跡等範囲確認調査(本沼窯跡群) (2)県営圃場整備地内遺跡確認調査	益子町本沼地区 芳賀町北部地区・稲毛田地区	奈良・平安時代窯跡 古墳時代・中世古墳・集落	県教育委員会が重要遺跡としている遺跡等の範囲確認の発掘調査を実施した。 県が実施する圃場整備地内の遺跡の有無、遺跡の範囲、遺構の密度等を確認するための発掘調査を実施した。	R2. 1. 6~R2. 3. 30 R元, 6, 3~R2. 3.30	栃木県
2	くるま橋遺跡	栃木県県土整備部が計画する一般県道西田井二宮線石島工区の事業	真岡市石島地区	古墳時代~奈良・平安時代集落跡・古墳群	発掘調査により出土した遺物と図面・写真等記録類の整理作業を実施した。	H31. 4. 1~R2. 3. 30	栃木県
3	平出城跡	栃木県県土整備部が計画する主要地方道宇都宮向田線平出工区の事業	宇都宮市平出地区	中世・近世城館跡	発掘調査により出土した遺物と図面・写真等記録類の整理作業及び遺跡の報告書作成を実施した。	H31. 4. 1~R2. 3. 30	栃木県
4	城ノ内遺跡	栃木県県土整備部が計画する一般国道結城石橋線多功工区の事業	上三川町多功地区	奈良・平安時代、中世・近世集落跡・城館跡・墓跡	開発地内において存在が確認されている埋蔵文化財(遺跡)の発掘調査を実施した。	H31. 4. 1~R2. 3. 30	栃木県
5	松の木遺跡・山神塚	栃木県県土整備部が計画する国道121号下石川工区の事業	鹿沼市下石川地区	古墳時代、近世以降集落跡・古墳跡	発掘調査により出土した遺物と図面・写真等記録類の整理作業、及び遺跡の報告書作成を実施した。	R元. 8. 1~R2. 3. 30	栃木県
6	ホクチア遺跡	栃木県県土整備部が計画する一般県道佐野環状線黒袴工区の事業	佐野市黒袴地区	縄文時代、奈良・平安時代集落跡	発掘調査により出土した遺物と図面・写真等記録類の整理作業及び遺跡の報告書作成を実施した。	H31. 4. 1~R2. 3. 30	栃木県
7	二条城跡	栃木県県土整備部が計画する南沢地区砂防事業	栃木市西方町本城地区	中世・近世城館跡	発掘調査により出土した遺物と図面・写真等記録類の整理作業及び遺跡の報告書作成を実施した。	R2. 1. 6~R2. 3. 30	栃木県
8	酒野谷原塚	栃木県県土整備部が計画する一級河川大芦川河川改修事業	鹿沼市酒野谷地区	近世塚	開発地内において存在が確認されている埋蔵文化財(遺跡)の発掘調査と、それによって出土した遺物と図面・写真等記録類の整理作業及び遺跡の報告書作成を実施した。	R元. 8. 1~R2. 3. 30	栃木県
9	境の明神遺跡	栃木県県土整備部が計画する一般国道 294号明神工区の事業	那須町寄居地区	近世集落跡	開発地内において存在が確認されている埋蔵文化財(遺跡)の発掘調査と、それによって出土した遺物と図面・写真等記録類の整理作業及び遺跡の報告書作成を実施した。	R元. 6. 3~R2. 3. 30	栃木県

No.	遺跡名	調査の原因	所在地	遺跡の時代・性格	発掘調査の内容	契約期間	委託元
10	欠ノ上・小鍋内遺跡	栃木県県土整備部が計画する一般県道那須烏山矢板線鹿子畑工区の事業	さくら市 金枝・鹿子畑地区	縄文時代～中世 集落跡	開発地内において存在が確認されている埋蔵文化財(遺跡)の発掘調査を実施した。	H31. 4. 1～R2. 3. 30	栃木県
11	西高橋遺跡	栃木県県土整備部が計画する一般県道結城石橋延島工区の事業	小山市 延島地区	古墳時代 古墳	開発地内において存在が確認されている埋蔵文化財(遺跡)の発掘調査と、それによって出土した遺物と図面・写真等記録類の整理作業及び遺跡の報告書作成を実施した。	H31. 4. 1～R2. 3. 30	栃木県
12	荒井館跡	栃木県農政部が計画する農地整備事業	大田原市 荒井町島地区	中・近世 城館跡	開発地内において存在が確認されている埋蔵文化財(遺跡)の発掘調査を実施した。	R元. 10. 1～R2. 3. 30	栃木県
13	あがた駅南遺跡	栃木県企業局が計画する足利市あがた駅南産業団地造成事業	足利市 県町地区	縄文・古墳・古代・中・近世 集落跡	発掘調査により出土した遺物と図面・写真等記録類の整理作業及び遺跡の報告書作成を実施した。	H31. 4. 1～R2. 3. 30	栃木県
14	栗宮宮内遺跡	国土交通省が計画する国道4号歩道整備事業	小山市 栗宮地区	古墳時代～中世・近世 集落跡	開発地内において存在が確認されている埋蔵文化財(遺跡)の発掘調査を実施した。	R元. 8. 22～R2. 3. 31	国土交通省
15	西高橋遺跡	小山市が計画する小山東部工業団地 第二工区造成事業	小山市 梁・高橋地区	旧石器時代～古墳時代、中世・近世 古墳群	発掘調査により出土した遺物と図面・写真等記録類の整理作業及び遺跡の報告書作成を実施した。	H31. 4. 1～R2. 3. 31	小山市
16	荒井館跡	栃木県農政部が計画する農地整備事業	大田原市 荒井町島地区	中・近世 城館跡	開発地内において存在が確認されている埋蔵文化財(遺跡)の発掘調査を実施した。	R元. 11. 22～R2. 3. 19	大田原市
17	佐貫石仏	塩谷町が計画する国指定史跡佐貫石仏の保存管理策定事業	塩谷町 佐貫地区	縄文時代～中・近世～現代 磨崖仏ほか	遺跡の範囲確認の発掘調査とそれによって出土した遺物と図面・写真等記録類の整理作業及び遺跡の報告書作成を実施した。	R元. 7. 1～R2. 3. 30	塩谷町
18	四十八塚古墳群	ネクスコ東日本・佐野市が計画する北関東自動車道出流原SAスマートIC建設事業	佐野市 出流原地区	古墳時代・中世 古墳・集落跡	開発地内において存在が確認されている埋蔵文化財(遺跡)の発掘調査を実施した。	R元. 5. 20～R2. 3. 26	佐野市
19	さくら市遺跡詳細分布調査	さくら市域において埋蔵文化財包蔵地(遺跡)を把握するための事業	さくら市 全地区	旧石器時代～近世 散布地ほか	市域のうち旧氏家地域を踏査し、遺跡の所在と各遺跡の範囲、性格を調査した。	R元. 11. 1～R2. 3. 30	さくら市

3 講座、講演会、研修等

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	実施日・回数	参加者数	選定方法	周知方法	備考
1	埋蔵文化財活用のための基礎講座	講義、実習を通して埋蔵文化財(遺跡や出土品)の理解を深める。また、講師と受講者として意見交換を行いながら、学校教育や生涯学習での埋蔵文化財の活用方法を検討する。	埋蔵文化財センター・史跡・博物館等	講義(旧石器、縄文、弥生、古墳、古代、中世)・史跡見学・体験学習(勾玉作り)・埋蔵文化財センター施設見学。	栃木県内で学校教育に従事する者(小・中学校、高等学校の教職員)及び栃木県内で生涯学習に従事する者	8月19日・20日	11名	原則全員	ホームページ並びに 県教育委員会及び市町教育委員会・教育事務所を通じて学校等へ通知	
2	市町埋蔵文化財担当者保存処理研修会	市町文化財担当者の文化財保存処理に係る知識と技術の習得に資する。	埋蔵文化財センター	当センター職員が講師となり、文化財の保存処理及び保管方法・強化処理に関する研修を実施した。	市町文化財担当者(発掘、保護)、博物館・資料館学芸員	6月25日～6月28日	のべ8名	市町からの推薦	市町教育委員会・博物館等に通知	
○ 3	発掘調査報告会	埋蔵文化財への理解と関心を喚起するとともに、考古学愛好者の学術的ニーズに応える。	埋蔵文化財センター	主に前年度に発掘調査、整理作業を行った県内各地の遺跡及び東日本大震災復興支援の発掘、技術指導について、画像等を用いて詳細かつわかりやすく説明した。	一般県民	10月27日	128名	申込順	ホームページ並びにリーフレットを県及び市町教育委員会・県内各学校・博物館・資料館・前年度参加者・刊行物定期購読者に送付	
4	発掘調査現地説明会	速報的に調査の成果を周知するとともに、地域の歴史や文化に対する理解と関心を喚起する。	①城ノ内遺跡 ②欠ノ上・小鍋内遺跡 ③佐貫石仏 ④荒井館跡	通常見ることができない発掘調査中の発掘現場に見学コースを設け、住居跡など遺構についてわかりやすく説明するとともに、出土した遺物も陳列して解説した。	一般県民	①7月21日 ②9月21日 ③10月19日 ④12月21日	①193名 ②40名 ③20名 ④114名	原則全員	ホームページ並びに地元市町教育委員会及び近隣の学校への通知。遺跡周辺住民への回覧板、新聞掲載	
5	特集展示講演会	特集展示に関連して、県内の歴史や文化に対する理解と関心を喚起する。	埋蔵文化財センター	埼玉県本庄市教育委員会の太田博之氏を招き、「北武蔵および周辺地域の古墳と埴輪」の講演を通して、小山市西高橋遺跡と周辺地域との関係について学んだ。	一般県民	10月27日	65名	申込順	ホームページやリーフレット	
☆ 6	出前授業等	児童・生徒に、地域の歴史や過去の人々の生活に対する興味と関心を喚起する。	学校等	当センター職員が、学校周辺で出土した土器などを用い、生活の移り変わりを中心とした地域の歴史についての授業を行った。また、勾玉作りや土器・石器、古代衣装の貸出などを行った。	各市町小・中学校生等	18校、16団体(5月2、6月5、7月5、8月6、9月2、10月6、11月5、12月1、2月1)	1,740名	希望校等は全て	ホームページ並びにリーフレットやセンターだよりを各学校に送付	

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	実施日・回数	参加者数	選定方法	周知方法	備考
7	史跡見学会	遺跡を見学し、栃木県内外の史跡の特徴を理解する。	大田原市黒羽城、白河市小峰城、福島県文化財センター「まほろん」	那須地方の中世城館を訪れ、施設の学芸員による解説を受けた。那須地方と接する白河市小峰城を見学し、両地域の比較をした。「まほろん」では福島県の通史を学んだ。	一般県民	9月29日	43名	抽選	ホームページ並びにリーフレットを県及び市町教育委員会・県内各学校・博物館・資料館・前年度参加者・刊行物定期購読者に送付	
8	ボランティア養成	埋蔵文化財センター普及事業に携わるボランティアを養成する。	埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター施設及び周辺の史跡見学における解説、勾玉作り等体験学習の指導を行うため、養成講座を行った。	ボランティア希望者	4月9日、5月14日、6月11日、7月9日、8月6日、9月10日、10月1日、11月12日、12月10日、1月14日	のべ106名	申込順	ホームページ並びにリーフレットを県及び市町教育委員会・県内各学校・博物館・資料館・前年度参加者・刊行物定期購読者に送付	

4 体験教室等

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	実施日・回数	参加者数	選定方法	周知方法	備考
☆ 1	埋蔵文化財センター特別公開	埋蔵文化財センターの業務を一般県民に広く周知するとともに、埋蔵文化財に関する理解を深める。	埋蔵文化財センター	施設を公開し、併せて体験学習等を実施した。	一般県民(主に小・中学生)	7月26日～7月29日	616名	特になし	ホームページ並びにリーフレットを県及び市町教育委員会・県内各学校・博物館・資料館・前年度参加者・刊行物定期購読者に送付	
☆ 2	埋蔵文化財センター見学	埋蔵文化財センターの業務を周知し、出土品の実物に触れながら、過去の人々の生活に対する理解を深める。	埋蔵文化財センター	施設見学及び収蔵庫での出土品の観察を行った。	学校、依頼のあった団体 一般県民等	57校、13団体 (4月11、5月20、6月16、7月2、8月3、9月5、10月5、11月5、12月1、1月1、2月1)	2,991名	特になし	ホームページ及びセンターだよりを教育委員会・学校・博物館等に送付	
☆ 3	体験学習	原始・古代の物作り等を楽しみながら体験することにより、過去の生活への理解を深める。	埋蔵文化財センター	勾玉作り、アンギン編み、土器作り等の擬似体験を行った。	小・中学校生等 一般県民	27校、2団体 (4月5、5月6、6月11、7月2、8月1、9月2、11月1、2月1)	976名	希望者は全て	ホームページ及びリーフレットやセンターだよりを各学校に送付	
☆ 4	周辺史跡案内	実際に史跡を見学することにより、知識を得るだけでなく、その規模等を体感し、歴史への理解を深める。	埋蔵文化財センター周辺の史跡(琵琶塚古墳、国分寺、国分尼寺等)	当センター職員が史跡に児童・生徒を引率し、わかりやすく説明した。	学校、依頼のあった団体等	51校、5団体 (4月11、5月20、6月14、7月1、8月1、9月1、10月2、11月4、1月1、2月1)	2,512名	特になし	ホームページ及びセンターだよりを教育委員会・学校・博物館等に送付	

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	実施日・回数	参加者数	選定方法	周知方法	備考
5	埋蔵文化財センター 職場体験	埋蔵文化財センターでの整理作業、発掘現場での発掘調査に従事して、職業の実体験をする。	埋蔵文化財センター・発掘現場	整理作業(水洗、注記、拓本採り、実測、トレース等)及び発掘作業	中・高校生、教員	5校(6月3、11月2)	13名	特になし	センターだよりを教育委員会・学校・博物館等に送付。ホームページ	
6	ワークショップ	原始・古代の物作り等を楽しみながら体験することにより、過去の生活への理解を深める。	イオン小山店	土器に触れる体験を行った。	一般県民(主に小・中学生)	6月16日	436名	特になし	ホームページ及び県等でリーフレット、ポスター等を作成・送付	県民の日イベント

5 情報誌等の発行

No.	種別	目的	編集	作成部数等	配布先	活用方法等	備考
1	発掘調査報告書 (ホクチア遺跡・松の木遺跡・あがた駅南遺跡・平出城跡・酒野谷原塚・境の明神遺跡・二条城跡・西高橋遺跡(県)・西高橋遺跡(市)・佐貫石仏)	発掘調査の成果を、客観的に資料化して公表する。この成果を記録保存として後世に伝える。	埋蔵文化財センター	各300部	都道府県教育委員会・県内市町教育委員会・博物館・図書館・考古学講座開設大学等	教育委員会、博物館等に配布し、様々な研究目的を持った埋蔵文化財担当者が発掘調査した遺跡の情報を利用するとともに、図書館等に配布し一般県民が閲覧できるようにした。	
2	研究紀要 第28号	調査・普及部門の充実を図り、職員の日頃の調査研究の成果を発表する。	埋蔵文化財センター	500部	都道府県教育委員会・県内市町教育委員会・博物館・図書館・考古学講座開設大学等	教育委員会、博物館等に配布し、様々な研究目的を持った埋蔵文化財担当者が調査研究成果の情報を利用するとともに、図書館等に配布し一般県民が閲覧できるようにした。また、希望者には、埋蔵文化財センター及びホームページで頒布も行った。	
3	情報誌「埋蔵文化財センターだより」9月号、3月号	児童・生徒及び広く一般県民、県外各機関等に、県内の発掘調査情報及び埋蔵文化財センターでの普及啓発事業及び広く埋蔵文化財全般に関することを広報する。	埋蔵文化財センター	9月号 4,500部 3月号 4,500部 (壁新聞 1,000部)	県内学校・教育委員会・博物館・資料館等、県外都道府県教育委員会・市町村・博物館・資料館、定期購読者、見学者等	配布された各機関・個人が教育目的・学習目的に活用する。年2回のうち1回は、壁新聞を付録として作成し、掲示できるようにした。埋蔵文化財センター見学者、各行事参加者に配布した。	
4	「発掘調査成果情報誌」No.68～73	発掘調査報告書が専門的な内容であるため、発掘調査した遺跡の成果概要を一般県民にわかりやすく解説する。	埋蔵文化財センター	各4,000部	県内学校・教育委員会・博物館・資料館等、県外都道府県教育委員会・市町村・博物館・資料館、定期購読者、見学者等	配布された各機関・個人が教育目的・学習目的に活用する。埋蔵文化財センターが、遺跡や特定の地域について照会を受けた時に説明資料として使用する。	
5	「ふるさととちぎの考古学」	遺跡や出土品、発掘調査からわかった栃木県内の歴史を、わかりやすく説明する。また、埋蔵文化財センターの仕事の内容を紹介する。	埋蔵文化財センター	1,500部	埋蔵文化財センター見学者等	埋蔵文化財センターを見学する児童・生徒及び一般見学者が、栃木県内の旧石器時代から中世の歴史学習に活用する。	
6	「埋蔵文化財センター早わかりパンフレット」	発掘調査から報告書作成まで、埋蔵文化財センターの仕事の内容を、イラストによって、わかりやすく説明する。	埋蔵文化財センター	2,000部	埋蔵文化財センター見学者、現地説明会参加者等	埋蔵文化財センターや発掘調査現地を見学する児童・生徒及び一般見学者が、仕事の内容を理解できるパンフレットとして活用する。	

6 展示等

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	実施日・回数	参加者数	選定方法	周知方法	備考
☆ 1	常設展示	埋蔵文化財センターの仕事を紹介するとともに、遺跡、出土品等からわかった栃木県の歴史を展示・解説する。	埋蔵文化財センター	文字資料だけでなく、発掘調査等考古学的手法を駆使した歴史解明の方法を説明した。また、遺跡、出土品及び発掘調査によりわかった栃木県の歴史を、次代順(旧石器時代～飛鳥・奈良・平安時代)に展示・解説した。	一般県民	常時	2,448名	特になし	ホームページ並びにリーフレットやセンターだよりを各学校に送付	
2	3館連携テーマ展示	特定の時代や遺物あるいは通時代的なテーマを、埋蔵文化財センター、県立博物館、那珂川町なす風土記の丘資料館の3館が連携し、関連する出土品の展示を行う。	埋蔵文化財センター	「発掘から知る日本料理のはじまり」のテーマで、食に関連する出土品等の展示を行った。あわせて、当センター職員が展示に基づく講座を行った。	一般県民	4月21日～6月16日 講座 6月2日	講座32名	特になし	ホームページ並びにリーフレットやセンターだよりを各学校に送付	
3	特集展示	埋蔵文化財センターが発掘調査を行った遺跡について、その成果を展示し、県民の速報する。	埋蔵文化財センター	前年度に埋蔵文化財センターが発掘調査・整理・報告書作成を行った遺跡について、出土品や写真パネル等を展示する。また、期間中に、外部から研究者を招いて、展示に関連した内容の講演会を開催した。	一般県民	10月1日～11月29日 講演会 10月27日	講演会65名	特になし	ホームページ並びにリーフレットやセンターだよりを各学校に送付	
4	市町資料館等連携	地域の遺跡・出土品を活用した事業の企画・実施をサポートする。	宇都宮市立南図書館	市町等と協力し、各会場地域周辺の遺跡の出土品を用いて、地域の歴史を対象とした展示や解説をした。	連携する市町の住民	10月25日～11月14日	-	特になし	ホームページ、市町の広報誌	
5	県庁本館ミニ展示	遺跡の出土品を活用し、広く県民に埋蔵文化財や歴史への関心や理解を深める。	県庁本館企画展示コーナー	「縄文人が土器に託したもの」と題し、縄文土器の文様の意味の解釈についての展示をした。	一般県民	1月27日～2月21日	展示解説会 22名	特になし	ホームページ	

7 栃木県総合文化センター管理運営事業(指定管理)

○印はとちぎ県民カレッジ登録事業

1 施設管理

☆印は青少年と文化の連携事業

No.	施設名	施設の設置目的・特徴	所在地	仕様・概要	利用件数、利用料金収入	委託元
1	総合文化センター	総合文化センターは、県民の文化の振興及び福祉の増進を図るため、栃木県が平成3年に設置した公の施設である。また、県民の生活に潤いと活力をもたらすとともに、文化の振興に寄与することを設立目的としている。「文化の鑑賞・発表機会の提供」「本県文化を担う人材の育成」「文化交流の促進」「とちぎ文化の発信」の場として利用いただくよう運営に当たっている。当財団は、開館した平成3年度から第3期指定管理者6年目となる令和元年度までの29年間一貫して管理運営に当たっている。	宇都宮市本町1番8号	メインホール、サブホール ギャラリー(1~4) 特別会議室、会議室(1~4) 練習室(音楽、演劇、古典芸能) リハーサル室、和室(1~2) プレイガイド	利用許可申請等 1,925件 内、割引・減免利用 119件 時間外利用 156件 利用料金収入 25,846,510円	栃木県

No.	名称	目的	内容	対象	回数など	委託元
2	利用受付・打ち合わせ業務	施設の貸出受付及び打ち合わせをホスピタリティーを持って取り組むとともに、快適にご利用いただきリピーター利用者を確保する。	施設の貸出受付、利用者打合せ業務	施設利用者	抽選会参加団体数 362団体 利用者打合せ・施設下見件数 117件 学会・大規模大会件数 0件	栃木県
3	広報・情報の発信	施設の利用促進を図るとともに、県民への催事情報の提供を行う。	催し物案内の発行・ホームページやメールマガジン等による催事情報の提供業務、文化団体や企業向けに施設利用促進を図る広告・広報活動業務	一般	催し案内 年4回発行15,750部/約640箇所 に配布) 利用案内等関連冊子等作成配布(4,000部) HP:更新(2回)	栃木県
4	らくらくサービス業務	主催者の催し物運営をスムーズに進行できるようにバックアップするとともに、利用者の拡大を図る。	催事フローサービス・ケータリング・飾花・舞台オペレート・ピアノ調律・看板製作、託児サービス手配、会議室・練習室等設営、白布レンタル、チケット製作、消耗品提供、ゴミ処理等	施設利用者	お弁当の手配 47件 レイアウト変更 24件 舞台オペレート 0件 看板製作手配 13件 その他 124件	栃木県
5	保守点検業務	施設の維持管理及び利用者の安全確保のため保守点検業務を実施する。	舞台設備関係、施設設備関係、消防設備関係等の点検業務	-	舞台設備関係 0件、0回 舞台吊物、舞台照明、舞台音響等 施設設備関係 0件、0回 冷暖房、給排水、電気、昇降機等 4件、8回 消防設備関係 1件、1回 火災報知設備、非常放送設備等0件、0回 その他 2件、6回	栃木県
6	工事及び修繕関係	施設の維持管理、利用者の安全確保及びサービス改善のため工事及び修繕を実施する。	故障箇所等や利用者の安全確保及びサービス改善のための工事・修繕	-	ホール設備関係 0件 (改修工事期間中のため) 一般設備関係 41件 地下1階雑排水管修繕工事等 環境改善関係 0件 等 その他 7件 和室・古典芸能練習室畳更新等	栃木県
7	危機管理対策	利用者の安全確保ため、防火・防災訓練等を実施する。	危機管理マニュアル整備及び防火・防災訓練の実施	職員	消防・避難訓練(消防講話) 0回 月 日実施 消火訓練 1回 2月5日実施	栃木県
8	事業評価	更なるサービス向上を図るため事業評価を実施する。	利用者アンケート、抽選時アンケート、来館者アンケート、グループインタビューの実施	施設利用者	新規利用者29件回答、繰返利用者41件回答、抽選参加者78件回答	栃木県

令和元年度 栃木県総合文化センター 施設別利用率、収入金額一覧 (大規模改修のため7月まで閉館、8月からギャラリー棟のみ開館)

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
メインホール	利用率													
	収入金額													0
サブホール	利用率													
	収入金額													0
ギャラリー	利用率					55.9%	69.0%	39.8%	57.2%	37.7%	52.3%	66.0%	22.3%	49.5%
	収入金額					929,500	1,124,230	644,540	930,180	582,710	583,420	892,730	374,770	6,062,080
会議室	利用率					44.7%	34.8%	42.4%	44.8%	45.6%	56.6%	55.7%	21.2%	42.5%
	収入金額					2,365,080	1,368,790	1,811,600	1,965,740	1,878,470	2,460,420	1,995,060	743,300	14,588,460
練習室	利用率					55.6%	56.7%	51.2%	54.2%	47.7%	44.2%	62.5%	19.4%	48.6%
	収入金額					825,700	793,710	675,390	837,090	634,670	569,620	616,920	227,970	5,181,070
楽屋	収入金額					0	0	0	0	0	0	0	0	0

収入金額合計	R1年度	0	0	0	0	4,120,280	3,286,730	3,131,530	3,733,010	3,095,850	3,613,460	3,504,710	1,346,040	25,831,610
(参考)	H30年度	9,660,720	11,925,740	10,060,740	15,145,210	13,403,350	12,456,230	6,783,640	0	0	0	0	0	79,435,630

* 収入金額は利用実績であり、取り消し及び変更に伴う還付の収入は含まない。

収入金額
前年同月比 32.5%

らくらくサービス収入金額

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
	R1年度	0	3,260	113	113	364,843	190,929	278,000	547,122	97,345	343,688	262,874	93,945	2,182,232
(参考)	H30年度	256,797	373,299	1,241,274	1,534,685	1,767,019	1,300,152	1,398,644	210,457	1,954	0	158	124,216	8,208,655

* 収入金額は利用者からの入金額であり、経費の支出はここでは記載していない。

収入金額
前年同月比 26.6%

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月は新規予約を停止し、予約済みのものは延期、中止の検討を要請した。

指定管理施設の利用料金収入等比較

※収入額は、利用料収入と事業収入の合計額を記載した。(税抜額)

		平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和元年度 (決算)
公益事業				
子ども総合科学館	有料利用者数(人)	303,211	279,571	255,772
	収入額(千円)	74,745	68,709	62,602
とちぎ海浜自然の家	実利用者数(人)	26,335	25,329	26,173
	収入額(千円)	28,807	29,324	56,237
なす高原自然の家	実利用者数(人)	18,534	18,791	16,783
	収入額(千円)	24,688	19,968	25,543
収益事業				
総合文化センター	利用件数(件)	4,585	2,539	1,800
	利用料収入(千円)	138,880	73,917	24,362